

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院外来診療医担当表

	月		火		水		木		金		
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	
総合診療	内科予約2診		[内科] (循環器) 水越 正人		[内科] (糖尿) 栗栖 清悟		[内科] (肝臓) 佐藤 博明		[内科] 応援医師		
	内科予約3診	[内科] (糖尿) 佐々木 秀行		[内科] (糖尿) 小河 健一		[内科] (肝臓) 田中 寛人		[内科] (糖尿) 佐々木 秀行		[内科] (糖尿) 小河 健一	
	内科予約4診	[内科] 山根木 美香		[内科] (呼吸器) 上谷 光作		[内科] (循環器) 山本 勝廣		[脳疾患・救急] 加藤 正哉 (第1週)		[内科:健診] 小河 健一	
	内科新患5診	[内科] 田中 寛人		[内科] 栗栖 清悟		[内科] 山根木 美香		[内科] 山根木 美香		[内科] 上谷 光作	
	外科診	[外科] 櫻井 照久		[外科] 櫻井 照久		[外科] 鈴木 孝臣 (第2週) [外科] 佐々木 恵里 (不定期)		[外科] 櫻井 照久 (不定期)		[外科] 櫻井 照久	
脊椎ケアセンター	第6診察室	[脳神経外科] 大岩 美嗣		[脳神経外科] 大岩 美嗣		[脳神経外科] 大岩 美嗣		[脳神経外科] 応援医師		[脳神経外科] 上野 雅巳 (第1週) [脳神経外科] 大岩 美嗣	
	第7診察室	[センター長] 川上 守		[センター長] 川上 守						[センター長] 川上 守	
	第8診察室	[整形外科] 石元 優々		[整形外科] 寺口 真年		[整形外科] 寺口 真年		[整形外科] 石元 優々		[整形外科] 石元 優々	
	リハビリテーション科	隅谷 政		隅谷 政		隅谷 政		隅谷 政		隅谷 政	
眼科	泉谷 愛	こども外来	宮本 武	手術	泉谷 愛	術前外来	黄斑外来	手術	宮本 武		
小児科	戸川 寛子	予防接種	樋口 隆造		戸川 寛子	予防接種	樋口 隆造		戸川 寛子		

※当院は原則すべての診療科で予約制となりますので、来院前に予約センターへ電話での予約をお願いします。 2017年1月1日現在
 ※担当医が変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。
 ※外科：佐々木医師の診察は不定期となるため、事前にお問い合わせください。
 ※眼科：コンタクトレンズ外来は第2・4月曜日の午前10時00分～10時30分

紀北分院 予約センター TEL：0736-22-4600 (受付時間 月～金曜日 8時45分～15時)

看護専門外来予定表

	月	火	水	木	金
午前		フットケア	緩和ケア	認知症ケア フットケア 感染対策	フットケア
午後		フットケア	脊椎ケア	認知症ケア フットケア 感染対策	フットケア

フットケア専門外来、緩和ケア専門外来、脊椎ケア専門外来、認知症専門外来、感染対策相談外来を上記の予定で実施しておりますので、ご気楽にご相談ください。予約なしでも対応させていただけることもあります。お問い合わせ・ご予約は、医療支援室まで。TEL0736-22-0066 (代表)

当院では、禁煙外来を実施しています。ぜひご来院ください!!

・次回の紀北分院通信「あじさい」春号は4月です。

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 分院長 川上 守

〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺 219 TEL0736-22-0066 FAX0736-22-2579
 ホームページアドレス <http://www.wakayama-med.ac.jp/med/bun-in/index.html>

2017年1月発行



和歌山県立医科大学附属病院紀北分院通信



あじさい



vol.19
2017.冬号



理念

私たちは地域に密着した医療が実践できる質の高い医療人を育成し、安全で安心いただける医療を提供して、地域の保健医療の発展に貢献します。

基本方針

- 1 患者さんに信頼され、安全で心のこもった医療を行います。
- 2 豊かな人間性と専門的な知識と技術を備えた医療人を育成します。
- 3 地域に密着し、地域のニーズに定める医療機関を目指します。
- 4 近代的で最新の知識・技術を活用した医療を行い、地域の中核的医療機関としての使命を果たします。
- 5 地域の保健・医療・介護・福祉施設や行政と連携し、地域の人々の健康作りに貢献します。

患者さんの権利

- 当院では、受診される皆様が、以下の権利を有することを確認し、尊重します。
- 1 個人として、尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。
 - 2 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
 - 3 十分な情報を得た上で、自己の意志に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。
 - 4 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
 - 5 個人情報やプライバシーを守られる権利があります。

掲載内容

- ・平成29年年初の挨拶
- ・がんリハビリテーションについて
- ・栄養管理室紹介
- ・看護専門外来のお知らせ



平成29年酉年 年始の挨拶



和歌山県立医科大学附属病院紀北分院

かわかみ まもる
分院長 川上 守



謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

和歌山県立医科大学附属病院の「紀北分院では患者さんのケアを」という目的で新病院ができ、一昨年には地域包括ケア病床が開設され、現在に至っています。大学病院の機能として、教育、研究、臨床は当然望まれているところですが、これらを介しての「社会への貢献」が最も重要です。分院ができる社会貢献は何と言っても地域の方に安心して受けていただける安全な医療サービスの提供です。現実には、疾患や病態によっては対応できないものも多々あり、まだまだ完全に達成できていないのが現状です。職員と一丸となって、ケアマインドをもって「社会への貢献」の目的を達成できるよう日々精進する所存です。

さて、新年は酉年です。「酉」は果実の成熟が極限に達した状態を表しているとされているようです。紀北分院は成熟が極限に達している状態とはとても言えません。地域医療に十分貢献できるよう成熟した病院を目指す1年にしたいと考えています。酉年が皆様にとって実りの多い年になることを祈念しまして新年の挨拶とさせていただきます。

■ 診察日

月曜日・火曜日・金曜日

■ 専門分野

脊椎脊髄病の診断と治療、
特に脊椎脊髄外科

■ がんリハビリテーションについて



リハビリテーション科

みやけ たかひろ
療法士長 三宅 隆広

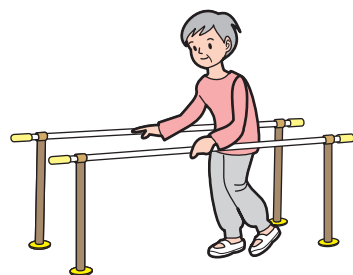
現在、がんは2人に1人がかかるため国民病とも言われています。がんは誰もがかかりうる病気です。そのため、当院においてもがん患者さん及びご家族が様々ながんの病態に応じて、安心できるがん医療を受けられるように総合的に取り組んでいます。

がんリハビリテーションは、入院中のがん患者さんを対象として、適切な研修を修了した理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が実施します。がんリハビリテーションは、がんやがんの治療により生じた痛み、筋力低下、障害等の悪化を防ぎ、骨、関節、筋肉や神経などの働きを高めて生活機能を改善することを目的としています。

この目的に向かって医師の診察に基づき専門職種がチームを組んで患者さんと関わっていきます。理学療法士は歩行などの基本的動作能力を、作業療法士は食事・排泄・入浴・更衣などの生活動作能力を、

そして言語聴覚士は嚥下（えんげ）や言語聴覚能力を、個々の患者さんに応じて向上させるように取り組みます。また、看護師、社会福祉士等とも連携して、個々の患者さん及びご家族のQOL（生活の質）に十分配慮しながら適切な治療目標を設定して進めていきます。

誰ものがんにはかかりたくないものです。しかし、もしそうなってしまった場合でも、当院では患者さんやご家族に安心して受けていただける医療を目指しています。



栄養管理室 紹介

「衣食住」や「衣食足りて礼節を知る」ということわざがあるように、私たちにとって「食」はいのちの源です。毎日規則正しく、バランスの良い食事をとることはもちろんですが、家族や友人などと楽しく会話しながら食事をとることも日々の健康には重要なことです。このように私たちの日々の楽しみでもある食事ですが、只々好きなものを好きなだけ食べれば良いということではありません。食生活が原因で引き起こされる生活習慣病やメタボリックシンドロームなどが近年問題視されています。いかに病気から自分の身体を守り、上手に栄養を摂取すること、そしていつまでも食べる楽しみを忘れずに、食事ができるようサポートすることが私たち管理栄養士の役割であると考え、日々業務に取り組んでいるところです。

当院には内科、整形外科、脳神経外科、外科、リハビリテーション科、眼科、小児科があり、入院外来を問わず、病状にあわせた栄養管理が必要とされている患者さんも多くいらっしゃいます。現在2名の管理栄養士が病状に応じた食事の提供、入院患者さんの退院後や、通院患者さんが自宅でも取り組めるような栄養食事指導、病室訪問、栄養に関するチーム医療などを積極的に行っています。

★病院食

病院食は「安全・安心」をモットーに、普段の生活と異なることで食欲の低下を招かないようなメニュー作りを心がけています。また、患者さん一人ひとりにあわせたエネルギー設定を行い、病気からの早期の回復を目的としてお食事を作っています。食事時間は、朝食8:00、昼食12:00、夕食18:00頃とし、温冷配膳車を使用することで、それぞれのメニューに合った適温で提供しています。「入院中は食事だけが楽しみ」とおっしゃる患者さんも多いため、少しでも楽しく食事をしていただけるよう、常食の患者さんには週3回程度、夕食のメイン料理を選択していただける選択食や、月に一回程度旬の食材を使用した、季節限定メニューや郷土料理を提供する行事食を実施しています。

★栄養食事指導

栄養食事指導では糖尿病など普段の食事が治療の大きな柱となる病気を始め、ダイエットや嚥下（えんげ）が困難な方のお食事の調理方法まで、個別に指導を行っています。さらに数ヶ月に1回というように定期的に指導を行うことで、患者さんが食事療法を継続できるよう出来る限り支援をしています。

★栄養サポートチーム

医師、看護師、臨床検査技師、薬剤師、言語聴覚士で構成しています。入院患者さんの栄養状態の改善のために、チーム一丸となって栄養療法に取り組んでいます。

お食事に関してご相談等ございましたら、是非紀北分院へお越しください。

